

ふれあい広場 342号



国家公務員共済組合連合会
平塚共済病院



〒254-8502 平塚市追分 9-11

患者専用ダイヤル 0570-000-223

病院代表電話 0463-32-1950

<https://hrt.kkr.or.jp/>

令和8年7月15日 発行



Photo by S.H



■基本理念

患者が安心でき、地域から信頼される病院を目指します

■基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します
- ・患者の視点を大切にし、多様な立場の方にも配慮します
- ・プライバシーを尊重し、医療情報を適切に扱います
- ・地域医療支援病院としての役割を果たします
- ・健全な経営を維持し、必要な医療設備を整えます
- ・職員が働きやすく、活力ある病院を目指します

■患者権利・患者責務

患者と医療提供者が信頼関係に基づき協働して医療を実践するために、患者権利と患者責務を以下に示します。

<患者権利>

I 基本的権利

全ての患者の意思が尊重され、主体的に医療に参加し適切な医療を受ける権利

II 医療における権利

- ・検査や治療を選ぶ権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・可能な限り意思決定に関与する権利
- ・医療の内容を知る権利
- ・尊厳とプライバシーが守られる権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利

<患者責務>

- ・自身の健康に関する出来るだけ正確な情報提供
- ・医療に関する主体的な希望の伝達
- ・説明に対して十分納得した上での医療への参加
- ・病院規則の理解および協力
- ・暴言や暴力行為の禁止
- ・受けた医療に対する医療費の速やかな支払い

マイナ保険証×スマートフォン

スマートフォンをマイナ保険証として**利用**できます！

1

健康保険証の利用登録をする

※ **すでにマイナ保険証をご利用の場合、この手順は不要です**

2

マイナンバーカードをスマートフォンに追加する

手順1

マイナポータル
のダウンロード

詳細はこちらから ▶

手順2

マイナンバーカード
の利用申請・登録

詳細はこちらから ▶

iPhone



App Store
からダウンロード

iPhone



App Store
からダウンロード

Android



Google Play
で手に入れよう

Android



Google Play
で手に入れよう

詳しくは厚生労働省 Web サイトでご確認いただけます

詳しくは



マイナンバーカード保険証利用



患者専用ダイヤルについて

当院では、**患者専用ダイヤル**を設置しておりますので、病院へのご連絡の際は、ぜひご利用ください。

また、**予約変更・各種問い合わせダイヤル**も運用しておりますので、ご用件に応じてご利用ください。

代表電話 **0463-32-1950**

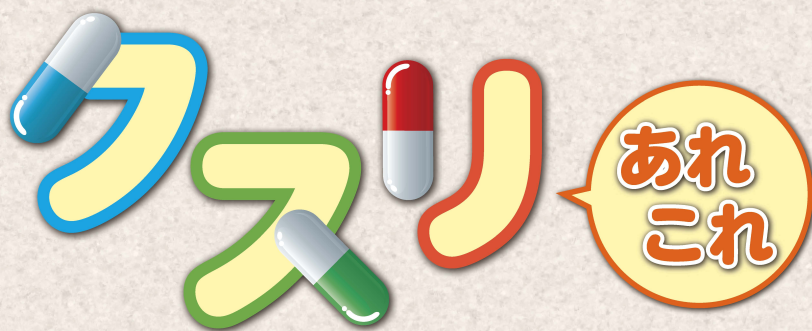
夜間・休日窓口(救急センター)は代表電話をご利用ください。

患者専用 **0570-000-223** (平日 8:30 ~ 17:15)

予約変更 **0570-008-077** (平日 14:00 ~ 17:00)

各種問い合わせ

※ 診察券裏面に記載のフリーダイヤルは現在使用しておりません。お電話の際は、上記の電話番号をご利用ください。



お薬の保管方法

病院や薬局からお薬を受け取った後、ご自宅でどのような保管をされているでしょうか？

多くのお薬は薬袋（薬を入れる袋）に入った状態で受け取っていると思います（一部の外用剤や形の大きいものを除く）。

その後、それぞれ飲みやすいように切り分けたり、ケースに入れたりと様々な方法で保管をされていることでしょう。

昨今、気候の変動により夏場は高温多湿となる事が多くなってきています。その中でお薬の保管に際して『高温』・『多湿』というのは保管環境としては適していないと考えられます。

なぜ高温多湿下での保存がいけないのか？

多くのお薬には保存するための温度が設定されており、ほとんどの場合『室温』保存とされています。それらを逸脱することでお薬のシートに入っているお薬の成分が壊れたり、異なる成分が生まれて「正しく薬の効果が発揮されない」状態になってしまうことが考えられるからです。

『室温』とは？

⇒お薬を保管する上での室温とは **1 ～ 30℃**を示します。中でも **15 ～ 25℃**とする常温で保管することでお薬を安定して保存しておくことができます。

湿度が高い状態で放置された場合、空気中の水分でお薬がふやけたような状態になってしまい、こちらも薬の成分が変わってきてしまい正しく体に作用しないことがあります。

ではどのような保管方法が良いのか？

基本的には**直射日光の当たらない部屋の涼しいところ**で保管できていれば問題はないと思います。

より気を使うとすればジッパー付の袋に乾燥剤などを一緒に入れておくことで、湿度が上がることを防ぐことができます（乾燥剤が膨れたり、色が変わるようであれば交換する）。

このようにしっかりお薬を保管し、お薬の効果を損なうことなく使用することで適切なお薬の使用につながるので、皆様一度ご自宅のお薬の保管方法を振り返ってみてはいかがでしょうか。

正しく保管していても、色が変わったり、形が崩れたりしているものは服用しないでください。

市民公開講座

もしものに備える、命とくすり

～災害時でも慌てないための糖尿病ケアとお薬管理～

もし大地震や水害、さらにはかかりつけの病院のシステム障害が起きたら、あなたやご家族の薬はどうなりますか？

今回の市民公開講座では『災害と医療』をテーマに、医師と薬剤師がもしものの時の備えを解説します。糖尿病など持病をお持ちの方は、災害時の備えが不可欠です。併せて、災害時の体調不良への対処や避難所での過ごし方について専門医が解説します。また、普段の治療薬を日常的に備蓄する際のポイント、近年話題のサイバーテロ対策、お薬手帳やマイナンバーカードの賢い活用法を薬剤師がお伝えします。

明日からできる備えと一緒に学びませんか？ご参加をお待ちしています。



講師

平塚共済病院

薬剤科 薬剤師 西 夏未



講師

平塚共済病院

糖尿病内分泌代謝内科科長 内田 諭

要事前申込み

QR コードからお申込みください



日 程

2026 年 8 月 28 日（金） 14：00～15：30

会 場

平塚共済病院 診療研修棟 6 階 大会議室

内 容

講演「もしものに備える、命とくすり」

参 加 費

無料 どなたでも参加できます

定 員

100 名（先着順）